

令和8年松本市議会2月定例会  
市長閉会あいさつ

[8.3.16(月) PM2:30]

発言の機会をいただきましたので、閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様には、28日間に及ぶ会期中、慎重な審議を賜りましたことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

一部修正の上で可決成立した令和8年度一般会計予算に関連して、何点か申し上げます。

まず市立小学校の給食費につきましては、国の基準額を超える分を松本市が独自に上乘せをし、来月から無償化を実現します。

ようやく物価の上昇に賃金の引上げが追い付こうとしていた矢先に、アメリカとイスラエルがイランを攻撃したことにより、原油価格の高騰が進んでいますが、家計に及ぼす影響を最小限に抑えるため、子育て世代の負担の軽減に積極的に取り組んでまいります。

次に、公共施設の鍵のデジタル化について申し上げます。今年度行った実証実験を踏まえ、貸出しを行っているほぼ全ての地区公民館・体育施設・学校施設、合わせて93の施設に、スマートロックを導入することとなりました。

窓口で鍵の受渡しを行わずに済むことにより、市民の利便性の向上や職員の事務の効率化、更に部活動の地域展開に携わる指導者の負担軽減にもつながると考えています。

部活動の地域展開に当たりましては、来年度末に全ての中学校で平日も部活動が終了することを見据え、子どもたちが幅広い指導者の下で自らの可能性に挑戦できるよう、それぞれの目的に即した多様な環境の整備を進めてまいります。

市役所新庁舎の建設事業及び本庁舎側敷地の利活用検討事業についても、関連予算を可決いただきました。

新庁舎の建設をめぐるしましては、市長就任後に計画の見直しを表明して以降、コロナ禍の働き方改革やデジタル化の急速な進展などにより、私たちを取り巻く環境が大きく変化する中で、「市民に身近な市役所づくり」の検討を重ねてまいりました。そして、昨年11月に基本計画の見直しについて議会の承認をいただき、新庁舎建設の方向性が明確になりました。

令和8年度は、設計・施工業者の選定作業に着手するとともに、新たなワンストップサービスやペーパーレスの推進といった業務改革に並行して取り組んでまいります。

新たに建設する本庁舎は、東庁舎側へ集約することにより機能性や快適性を高める一方、現在の本庁舎側の敷地は、松本城公園や市道と一体的に新たな賑わいを生み出す公共空間として活用を検討してまいります。

かつて筆頭家老の屋敷が構えられていたとされる歴史的な場所を、どのように次世代へ引き継いでいくのか。本庁舎を解体する時期を見据えて、松本城と北アルプスを望む立地にふさわしい整備計画を、市民の皆さまとともに作り上げてまいります。

先週14日に新たな運賃制度がスタートした、ぐるっとまつもとバスについて申し上げます。

公設民営化から3年が経過し、初めて実施する運賃改定は、基本運賃の値上げと合わせて、中学生や高校生、子育て世代が利用しやすい制度にすることを主眼に置きました。地域交通の要となる路線バスを将来にわたって市民の足として守っていくための取組みです。

さらに、来月1日からは、キャッシュレス決済として、Suicaなどの交通系ICカードも利用できるようになります。チケットQRアプリやクレジットタッチ方式とともに、市民や観光客がそれぞれの用途に応じてキャッシュレス決済を選べる環境が整います。

あわせて、バスの発着拠点である松本駅前交通ターミナル機能の更なる強化に取り組む、来年度は、松本駅お城口広場に総合案内や路線バスの情報を表示するデジタルサイネージを設置いたします。

その上で、交通ターミナル機能強化構想の策定や駅まち空間デザイン検討会議の開催を通じて、公共交通の拠点であり、賑わいの起点である、松本駅周辺の再設計を進めてまいります。

東アジア文化都市2026は、昨年11月以降、日中関係の緊張が続き、中国側の参加が不透明な状況ですが、予定どおり5月17日に開幕式を行う方針です。

式典は、松本城本丸庭園を会場に、合わせて中心市街地の各所で芸能パフォーマンスなどのイベントを同時開催する予定で、国内の東アジア文化都市では初めてとなる屋外型の実施を計画しています。

それ以降のイベントにつきましては、来月早々に詳細を発表する予定で、「アーツ&ピース」というメインテーマの下、芸術文化を通じて相互の対話と理解を深めるとともに、三ガク都に象徴される松本の

文化を国内外に広く発信してまいります。

続いて、職員等の公正な職務の執行を妨げる行為の防止に関する条例について申し上げます。

令和6年9月の市議会定例会でカスタマーハラスメントに対して組織的に対応していくことを表明して以降、職員が安心して働ける職場環境を整え、市民サービスの向上を図るために、段階的に取組みを進めてきました。昨年4月に設置したカスハラ対策室や今年1月に開始した通話の録音は、一定の効果を上げています。

条例の制定は、更に一歩進んで公正な職務を社会全体の共通価値として位置付けるもので、妨害行為を防止し適正な対処などを図るための松本市・職員・管理監督者・市民それぞれの責務、禁止行為である妨害行為の具体的な内容、それに実効性を担保するために氏名などを公表する措置を規定しています。

カスハラという社会課題に対し、毅然とした態度で臨むこと。市民と行政が互いに敬意を払い、支え合う土壌を育むこと。今回の条例を指針として、公正で適正な行政運営の徹底と民間企業に対する普及の促進を図ってまいります。

最後に、条例が否決されたユースセンターの設置について申し上げます。設置を目指した花時計公園周辺は、日頃から人が集う「えきしろ空間」のへそとして、人中心の空間づくり、若者が集まり中心市街地の魅力を享受できるパブリックライフの拠点空間として位置付けていこうと議論が行われているところです。

こうした場所だからこそ、若者が気軽に立ち寄ることができ、若者が主体となる活動が生まれる場所にできると考えています。残念ながら、設置条例は2票差で否決されましたが、若者の政策をめぐる、松本市議会ですらこれだけ白熱した議論が行われたことは、おそらく初めてだったのではないのでしょうか。引き続き私たちは、若者に寄り添う人材の育成を行いながら、若者が集い、挑戦し、社会の中で意思決定に参画できる力を育む活動を支援してまいります。

議員の皆様におかれましては、時節柄、健康にご留意いただくとともに、市政発展のため、引き続き、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。2月定例会閉会に際しての挨拶といたします。  
ありがとうございました。 (以上)